

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

単施設研究用

研究課題名

RYOMA3 を用いた救急外来受診症例の年次推移と患者特性に関する記述疫学研究

1. 研究の対象

対象期間：2015.01.01-2023.12.31

上記期間に高知大学医学部附属病院の救急外来を受診された方のうち、18 歳以上の方を対象とします。

本研究は、救急外来受診に関して通常診療で既に記録されている情報を用いる研究であり、研究のために新たな検査や採血等を追加で行うことはありません。

2. 研究目的・方法

研究目的：

救急外来を受診された患者さんの受診件数や患者背景、来院状況、重症度、転帰などが年次でどのように変化しているかを把握し、救急医療体制の評価や診療体制の改善、今後の研究計画立案に資する基礎資料を得ることを目的とします。

研究方法：

本研究は、通常診療で既に記録されている診療情報を用いる後ろ向き観察研究（記述疫学研究）です。対象期間内の救急外来受診記録から、患者背景（年齢、性別等）、受診状況（来院手段等）、重症度指標（トリアージ等が取得可能な範囲）、診療内容の概要（検査実施の有無等が取得可能な範囲）、救急外来での転帰（帰宅・入院・転院等、取得可能な範囲）などを収集し、年次推移や分布を統計学的に記述します。原因や治療効果などの因果関係の検証を主目的とするものではありません。

研究期間：研究機関の長の実施許可日～2031 年 03 月 31 日

利用を開始する予定日：2026 年 5 月 1 日から

3. 研究に用いる情報の種類

情報：

年齢、性別、受診日時、来院手段（救急車利用の有無等）、トリアージ区分または重症度指標（取得可能な範囲）、主訴または診断カテゴリ（取得可能な形式に応じて）、主

要バイタルサイン（取得可能な範囲）、検査および画像検査の実施の有無（取得可能な範囲）、救急外来での転帰（帰宅・入院・転院等、取得可能な範囲）など。

個人を特定しうる情報を用いる場合：

本研究では、原則として氏名、住所、電話番号、診療録番号などの直接識別子を研究者が取得しません。

（RYOMA3 の取扱い）

本研究で用いるデータは RYOMA3 (SIMPRESSEARCH) に収載された仮名加工済みデータを利用します。RYOMA3 へのアクセスは所定のネットワーク環境下に限定され、利用者・権限が管理されます。研究者は研究目的に必要な範囲でデータを参照し解析を行い、データの取扱いは学内規程および RYOMA3 の運用ルールに従います。

試料：

使いません（新たな検体採取は行いません）。

本研究に関する問い合わせの連絡先：

住所：高知県南国市岡豊町小蓮

担当所属：高知大学医学部 災害・救急医療学

担当者：恩田 秀賢

電話：088-880-2286

研究責任者：高知大学医学部 災害・救急医療学 恩田 秀賢

---